

# わくわくだより

# 第1号

平成24年7月16日(水)  
少人数・習熟度別授業担当



## 習熟度別学習（中学年の部）



3年生では、「たし算とひき算の筆算」の学習で習熟度別学習を行いました。子どもたちの希望により、先生と一緒に考える（じっくりコース）と自分の力で考える（どんどんコース）に分かれて学習を進めていきました。習熟度別にすることで、子どもたち自身の力で問題に取り組むことができていました。また、「わり算」

の学習では、クラスを半分に分けて少人数指導を行いました。少人数指導では、自分が立てた見通しにそって、図や言葉を使って自分なりの考えをノートに書くようにしました。

分からないときは、先生や友だちと相談して問題を解決していきました。

そして、自分の考えをみんなの前で発表しました。約束として、自分の考えを発表する時には分かりやすく大きな声で言うこと、聞いている人は自分の考えと比べながら聞くようにすることを指導しました。

4年生では、「わり算の筆算」「角と角度」「およその数」「小数」の学習で、少人数指導を行いました。子どもたちが考える時間をできるだけ設け、全体での話し合



☆前で問題を解いています。

☆自分の考えを発表しています。



☆友だちどうし教え合う姿も見られます。



い活動により、自身の考えをさらに深めることを目指して取り組みました。また、子どもの理解度にあわせ、個別指導など一人ひとりの学習支援を行ったので、子どもたち自身が自らの課題に向き合っていました。

また、4年生では国語科の「わたしの考えたこと」の単元で作文を書く学習のときに、先生と一緒に書いていく（じっくりコース）と自分の力で書き進めていく（どんどんコース）に分かれて進めていきました。

3年生も4年生も、少人数学習や習熟度別学習に意欲的に取り組んでいました。感想を聞くと、「いっぱい発表できてうれしかった」「集中できた」「またやりたい」と言っていました。2学期も子どもたちの学習意欲がわくように、工夫して取り組んでいきたいと思っています。

### \*夏休み中の学習について\*

3年生の「たし算とひき算」の学習では、くり下がりのあるひき算で間違いが多かったです。また「わり算」の計算のしかたも4年生につながる大事な学習です。

4年生の「わり算」の筆算の手順「たてる→かける→ひく…」は、2学期の「わり算(2)」の学習のときにも、とても重要です。また、「小数のしくみ」も2学期につながる大事な学習です。

3年生も4年生も、夏休みのくらしのプリントをきちんと仕上げ、苦手なところを復習しておいてください。

